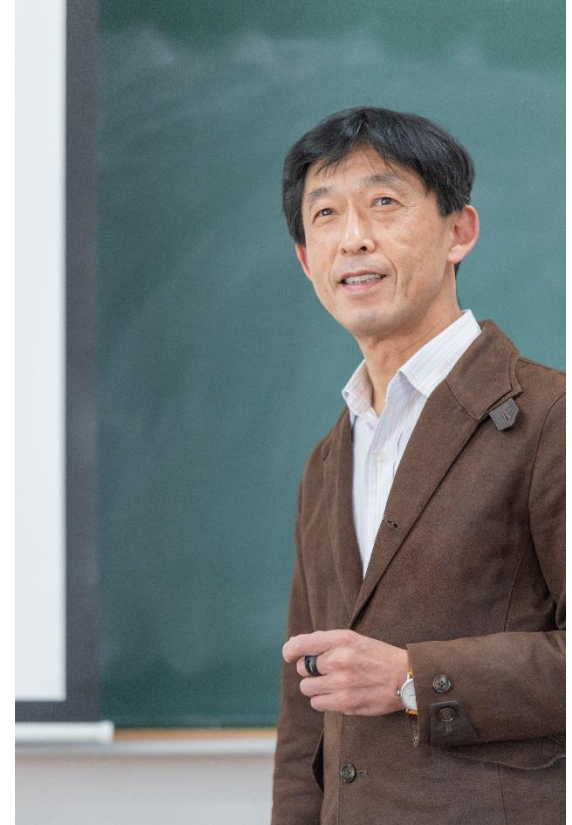


## Profile

こども学専攻教授。1983年群馬大学卒（障害児教育専攻）。渋川市立古巻中学校教諭（初任校）。群馬大学教育学部附属養護学校教諭。1999年前橋市教育委員会指導主事。2006年群馬県教育委員会事務局指導主事（特別支援教育・2010年補佐）。2011年渋川市立長尾小学校長。2014年群馬大学教育学部附属小学校副校長。2016年群馬県委員会事務局特別支援教育課長。2019年群馬県総合教育センター所長を経て、2020年4月より現職。2010年臨床発達心理士資格取得・現群馬支部副支部長・幹事。2012年発達を支える現場に携わる人たちの会主宰。保健医療、福祉、教育、労働等の専門家のネットワーク作りを進めている。2014、2015年群馬大学教育学部非常勤講師。2020年全国特別支援教育研究連盟表彰。2021年公認心理師登録。



## 学生へメッセージ

今、教育ではインクルーシブ教育、社会としてはソーシャルインクルージョンという考え方が進んでいて、幼稚園や保育所、各種施設には、たくさんの特別な支援を必要としている人がいます。特別な支援を必要とする状況は、ある人と環境等の関係性の中で生まれてきます。例えば、私は今の生活の中では、特に困難な状況はありません。しかし、日本語しか話せませんから、日本以外の国で生活することになったら、かなり手厚い特別な支援が必要になります。特別な支援が必要な状況は、個人の障害等に要因がある場合や虐待や貧困等の環境等に要因がある場合があります。

大学の講義では、特別支援教育と社会的養護（福祉関係）を主に担当します。

障害のある子どもたちに対する基本的な考え方、各障害種への理解と支援方法、児童福祉の理念や各施設についての理解やそこで暮らす子どもの理解と支援等について、講義や演習、実習を通して学んでいきます。

この学びが、結果として、幼児等の深い理解につながり、子どもに寄り添った支援につながっていくと考えています。

一緒にいろいろな個性のある子どもたちについて、学び語り合っていきましょう。